

サイドバイサイド



【みんなですすめよう男女共同参画】

平成25年度 「男女共同参画社会づくりセミナー」

**受託者
募集**

町では、住民との協働による男女共同参画を進めています。
セミナーをプランニングして、あなたやあなたのグループのアイデアと
パワーをセミナーに活かしてください。

■委託条件

- ▶ セミナーのテーマ 老若男女が伸びやかに共に活かしあう暮らしにつながる内容
- ▶ 委託内容 企画から運営まで。必要な情報やノウハウは町がサポートします
- ▶ 委託金 25,000円

■選考方法／書類選考→ヒアリング→8月中旬に決定

■申込み／7月19日(金)までに計画書を作成の上、人権推進担当へ。

※また、こんなセミナーだったら参加してみたいという希望がありましたら、声をお寄せください。

人権 それは愛

問合せ／教育文化振興課☎ 990-9011
企画財政課☎ 991-1815

今月は「松伏町小・中学校人権作文集－第13集－」の作品の中から、小学校4年生の作品を紹介します。

ずっと友だち

三年生のはじめのころは、仲がよかったんだけど、二学期ぐらいになって、Aさんとサッカーをしていたら、Aさんのパスがきたのにはやすぎて取れなかった。「どうしてうけ取れないんだよ。サッカーやめちゃえよ。」と、Aさんが言った。すごいやだった。

この日から、いっしょにサッカーをしなくなった。三学期になってもやらなかった。そんな時、先生が「Aさんは、転校します。」と言われた。ぼくは、あやまろうとしてもあやまれなくて、どうしたらいいだろうといろいろ考えた。

クラスで手紙を書くことになった。ぼくは、手紙の中に、サッカーの時は、ごめんね。と書いた。もっと、Aさんと遊びたかった。サッカーももっともったしたかった。それなのに転校してしまうなんて。

自分の口であやまりたかったので、引っこしの日Aさんの家に行った。Aさんはいなかった。もう引っこしてしまっただと思った。あやまれなかったとがっかりしていたら、Aさんがもどってきた。「サッカーの時は、はやいパスをだしたのにきつくいつたりしてごめん。」とAさんのほうからあやまってきたから、自分もあやまらないと思ったから、ぼくもAさんにあやまった。あやまれてよかった。心の中のもやもやがとれた。引っこしのじゅんびをしている間、サッカーをした。

この人権作文集は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。

